

~ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ~

(Ref No: 20-012)

1 マーシャル諸島の国家災害委員会(National Disaster Committee)は、国境封鎖を7月5日まで一カ月間延長する決定をした。同様に、マジュロ(※同国首都)とクワジェリン(※同国第二の人口を有する環礁島)間の移動禁止も継続となった。

原文

(12th June 2020, Marshall Islands Journal)

2 ナウルとパプアニューギニア (PNG) のマヌス島の難民 28 人が、第三国定住のために米国に飛び立つ。一方、ナウルには約 200 人、PNG には 180 人の難民が残っているほか、200 人の難民がオーストラリアに移送され治療を受けつつ拘留されている。オーストラリアは亡命を拒否しており、2012 年以降オーストラリアによって沖合で拘留された 750 人以上の難民が(※ナウルやマヌス島に)収容されてきた。

原文

(11th June 2020, Radio NZ)

3 中国は、オーストラリアとの関係が悪化する中、COVID-19 の流行により、中国人とアジア人に対する差別と暴力行為が増加しているとして、中国国民に対し、オーストラリアに旅行しないように注意する声明(※1)を発表。同声明は、大麦出荷に対する関税の課税に続いて発せられたものであり、その前にはモリソン首相がコロナウイルスの起源について独立した調査を要求している。オーストラリアは先進国で最も中国に依存する経済であり、キャンベラでは中国政府が報復に「経済的威圧」を用いているのではないかとの懸念が高まっている。

原文

(6th June 2020, Bloomberg)

【参考】

- ※1 中国文化観光部の声明:リンク参照
- ※2 豪シンクタンク Lowy Institute の関連論説:リンク参照

4 6月9日1200までの1週間、太平洋地域における COVID-19 の感染症例は、 北マリアナ諸島連邦で6月1日の22件から28件への増加を確認。追跡調査の 結果、5月にグアムからのフライトの乗客に感染が確認され、同国ではサイパ ンの人口の10%を含む7200人に対し検査を継続中。また、インドネシアのパ プア州では、1090件(前週725件)、同じく西パプア州では179件(同168件) を確認した。

パプアニューギニア (PNG) では、緊急事態について、一部の州知事が延長に反対したが、議会は6月2日から2週間延長することにした。

太平洋地域での観光の再開に向けて加速する動きがあり、ニュージーランドでは今週感染症例は確認されていないことから、バヌアツやクック諸島等の感染が確認されない国から、オーストラリアに先駆けて旅行バブル(travel bubble)を求められている。また、フランス領ポリネシアは、来月、国境を再開する最初の太平洋地域の観光地になると予想されており、Air Tahiti Nui は、プロモーション運賃を提供すると発表。到着3日未満のCOVID-19陰性証明書を保有していれば隔離なく入国できる。その他、北マリアナ諸島は7月に、ニューカレドニアは7月31日に、バヌアツは9月1日の再開を目指している。(※各国別の最新の詳細はリンク参照)

原文

(10th June 2020, Policy Forum)

5 ベトナムや台湾も領有権を主張する南シナ海のパラセル(西沙)諸島のウッディ島で、5月に中国海軍の職員が、750キログラムの作物を収穫したと北京に本拠を置くメディアが報じた。国内で開発された「sand-to-earth」の技術を使用して、チンゲン菜、白菜、レタスを栽培したとのこと。南シナ海の島々は自らのコミュニティーを維持できていないという2016年のフィリピンとの国際司法裁判所仲裁裁判での声明に対抗するものだと同メディアは述べている。原文

(10th June 2020, Voice of America)

6 新型コロナウイルスパンデミックやロックダウン等を受けた、船種別の 2020 年 5 月海運市況概要について、<u>リンク</u>参照(※詳細のレポート(本文)に ついてはこちらを参照)。

(9th June 2020, Danish Ship Finance)

New Covid-19 travel advisory

The RMI National Disaster Committee extended the Covid-19 border closure for another month with the issuance of a new Travel Advisory late last week.

Chief Secretary Kino Kabua issued Travel Advisory 14 last Thursday, extending the ban on incoming travelers to July 5. It also continues the ban on travel between Majuro and Kwajalein on United Airlines or other international carriers.

A change was instituted for container ships and fuel

tankers "that have a history of entering Majuro and Ebeye ports and records indicating that they have had the same master and crew members with consistently healthy medical records and no record of disembarkation from their vessels." These vessels are allowed to come into RMI ports to discharge cargo without meeting the previous 14day quarantine, but still must adhere to a no humanto-human contact policy in the offloading process.

COVID-19 HAS LOWERED ECONOMIC ACTIVITY AND WORLD TRADE

Non-essential spending is being postponed or cancelled, investments are being delayed, and few businesses are hiring workers

